

令和5年度(2023年度)予算(案)

これからの50年に向けた新しい未来への基盤づくりを進めます！

長らくコロナ禍に加え、物価高騰・地球温暖化などによる影響に配慮しながら、市民の生活を守り地域に活力を取り戻すための予算を編成しました

会計別予算(案)

会計名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
一般会計	587億3000万円	630億6700万円	▲43億3700万円	▲6.9%
特別会計				
国民健康保険特別会計	154億3205万円	153億8294万円	4911万円	0.3%
介護保険特別会計	124億1060万円	117億8266万円	6億2794万円	5.3%
後期高齢者医療特別会計	46億907万円	43億3044万円	2億7863万円	6.4%
合計	911億8171万円	945億6304万円	▲33億8133万円	▲3.6%

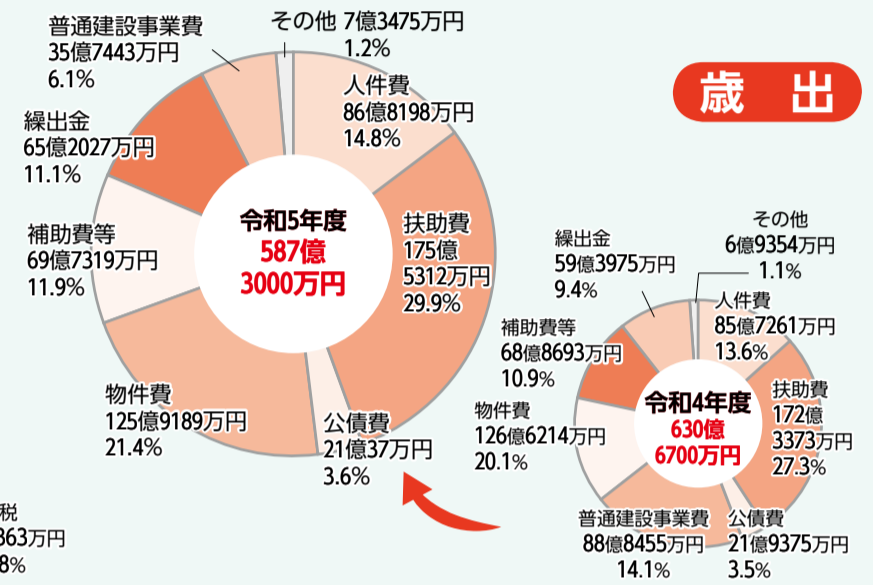
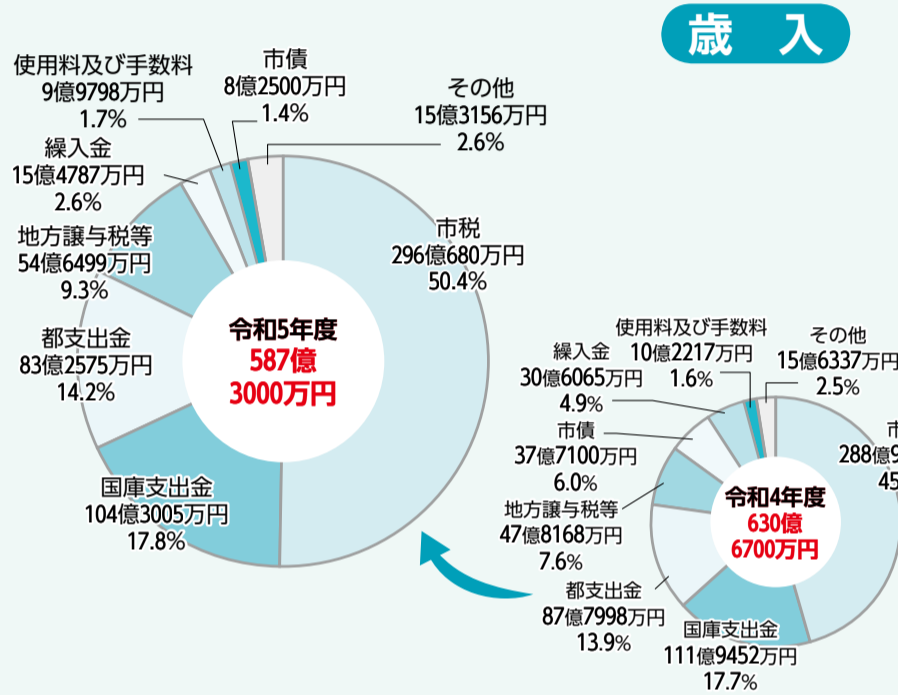
※千円単位で四捨五入しているため、合計額と会計ごとの合計は一致しない場合があります

区分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
下水道事業会計	収益的収支(※1)				
	収入	34億3047万円	33億6871万円	6177万円	1.8%
	支出	31億710万円	30億8340万円	2370万円	0.8%
資本的収支(※2)	収入	1億4092万円	1億2014万円	2077万円	17.3%
	支出	4億2512万円	3億7975万円	4537万円	11.9%

※1 下水を処理するための収入と支出

※2 下水道施設などを整備するための収入と支出

一般会計予算(案)内訳



用語の説明

- 人件費=職員の給与や議員の報酬などの経費
- 扶助費=児童・生活保護受給者・障がい者などの支援のための経費
- 公債費=過去に借り入れた借金の返済にかかる経費
- 物件費=物品の購入・光熱水費・事業の委託などにかかる経費
- 補助費等=各種団体への補助金などの経費
- 繰入金=国民健康保険などの特別会計への支出にかかる経費
- 普通建設事業費=公共施設などの工事にかかる経費

令和5年度予算について

歳入

市税は、大型マンションの新築や市内企業の業績の動向などから約7億円増えると見込んでいます。

歳出

普通建設事業費は、中央図書館の整備工事が終了したことなどにより約53億円減少しました。一方で、高齢化の進行に伴い増加傾向にある各特別会計への繰出金は約6億円増加しました。

また、障がい者への福祉サービスや生活保護費などの増により扶助費も引き続き増加しています。加えて、物価高騰や光熱費の上昇により、経常的な経費も増加しています。

まとめ

景気動向の先行きが不透明な状況の中、少子化の進行による人口減少、高齢化による社会保障経費の増加に加え、多くの公共施設が更新時期を迎えるなど厳しい行財政運営が見込まれます。そうした中でも、すべての人にとって住みやすく暮らしやすいまちの実現を目指して、子育て・子育て環境のさらなる充実や健康まちづくりの取り組みなどを着実に進めていきます。

また、令和5年度は、市の最上位計画である多摩市総合計画を改定する他、10を超える計画や方針などの策定・改定を行います。各分野において大きな方向性を見出していき、新しい未来への基盤をつくる年度としてさまざまな事業に取り組みます。

新しい未来への基盤づくり 子育てしやすいまちに向けて



市は、さまざまな面から子ども・子育てをサポートしているチャ！市がどんなことに取り組んでいるのか紹介するチャ！

三世帯近居・同居促進助成

親世帯と近居または同居する目的で市内に転入する、子育て世帯の住宅購入費や転入に要する費用などを助成。

0歳児保育

市内すべての認可保育所で実施。

地域子育て支援拠点(市内10施設)

妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援を行うことを目的に、親子の交流や相談を実施。



産後ケア支援

産後の心身の回復に不安のある方、授乳や育児に不安のある方の受け皿となるため、デイサービス型の他、自宅に訪問し、保健指導やケアを実施。

生物多様性セミナー

川の生きもの調査・観察会や昆虫観察会など、多摩市の豊かで多様なフィールドで、生きものとのつながりを感じるセミナーを開催。

スポーツ教室

小学生向けのゴルフ教室や、東京ヴェルディと協働したスポーツ教室などを実施。



中央図書館(7月1日オープン)

静かな読書・研究フロアの他、親子で会話をしながら本が選べる、読書もおしゃべりも楽しめる、広場のようなフロアがあります。

